



いずみの子



< かしこく やさしく たくましく >

◎学校評価アンケート結果の報告

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。子どもたちや保護者の方々からのアンケート結果を踏まえ、今後の本校の教育活動にいかしていく所存です。お世話になりました。

《評価欄の説明》

- ・児童、保護者ともに達成度が特に高い項目・・・◎、達成度が高い項目・・・○
- ・児童、保護者ともに達成度が低い項目・・・★
- ・児童、保護者の達成度に差がみられる項目・・・△

	質問項目	1日目達成度		2回目達成度		評価
		児童	保護者	児童	保護者	
1	通信やブログ等、学校からの情報発信について	94.9	91.7	93.4	89.3	○
2	担任への相談、スクールカウンセラーを含め、教育相談に関することについて	95.7	95.5	95.6	92.9	◎→○
3	授業のわかりやすさについて	96.6	87.9	96.5	84.3	△
4	宿題、自主勉強を含めた家庭学習について	76.9	69.4	67.3	65.0	★
5	家庭学習に費やす時間について	94.0	73.2	92.5	62.1	△★
6	読書について（週に1時間以上）	55.6	33.8	49.1	31.4	★
7	あいさつの習慣について	94.4	73.9	93.8	69.3	△
8	TPOにあわせた言葉遣いについて	94.0	71.3	93.4	77.9	△
9	相手に対する思いやり言動や言葉遣いについて	96.6	89.8	94.7	91.4	△
10	いじめや意地悪のない、友だちとの人間関係について	97.4	87.3	98.7	82.1	△
11	家庭でのお手伝いについて	79.1	72.6	77.9	75.0	★
12	身体を動かすこと、運動について	88.9	75.8	86.3	80.7	★→○
13	早寝早起きについて	82.1	79.0	76.1	76.4	★
14	朝食について	97.8	98.1	94.6	97.1	◎
15	給食について	96.9	94.3	96.9	96.4	○→◎
16	インターネットやゲーム等の適切な使い方や時間について	88.5	59.2	85.4	56.4	★
17	生活における安全意識について	90.2	97.5	92.0	93.6	△→○
18	交通に対する安全意識について	97.4	88.5	95.6	87.1	△
19	学校での係の仕事や役割分担などの責任について	95.3		97.3		◎
20	将来の生き方や進路について	92.2	83.4	93.4	77.1	△
21	電気、水の節約、ゴミ分別等の環境意識について	94.8	93.6	93.3	88.6	○→△
22	学校生活の満足度について	94.9		94.9		○
23	学校生活におけるきまりの遵守について	96.6		96.6		◎

《 講 言 平 》

多くの項目において90%に近い達成度がみられました。数値的に誤差の範囲ですが1回目から評価が下がった項目があり、厳しい評価もいただいております。この結果を真摯に受け止め、子どもたちの笑顔が日々見られるような学校を築きたいと思います。保護者の皆様と学校の教職員が共に協力し、子どもたちの健やかな成長を見守りたいと思います。

○高評価

一回目同様、**教育相談関係、朝食の摂取率、きまりの遵守など**において高い達成度がみられ、**心の豊かさを目指す情操教育や健康安全の分野において望ましい結果**ができました。

●低評価

一回目のアンケート結果から教職員一同改善を試みましたが、**結果は厳しいものとなってしまいました**。まずは**家庭学習**です。1・2年生は20分以上、3年生30分以上、4年生40分以上、5年生50分以上、6年生60分以上を目安として掲げていますが、保護者からの、評価が低くなっております。保護者とするともっと学習してほしいという願いがあると分析できます。

読書習慣はさらに大きな課題です。本を読むことの大切さを重点的に呼びかけたり、委員会活動で読書の素晴らしさを紹介したりしてきましたが、依然、低い結果となってしまいました。来年度は学級活動等を活用し、ビブリオバトルやアニメーションなど読書を楽しめる活動を取り入れて、読書の素晴らしさに気づかせたいと思います。その対極にあるのが**ゲームやスマホ等に費やす時間**です。ゲームやインターネットの功罪を集会や学級活動では説明、解説しておりますが、職員もさらに研修を重ね、その情報を子どもたちに還元したいと考えます

《 質 問 に 対 す る 答 え 》

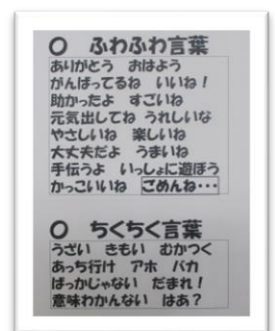
全体結果とは別に、個別の質問ありましたので、お答えいたします。

Q1 給食の時間よくかんで食べていると時間が短いのでもう少し給食の時間を長くしてほしい。

A1 給食の時間は準備片付けを含めて50分間設定しています。食べる時間だけを考えても20分以上の時間を確保しています。配膳時間を短縮し、少しでも食べる時間を確保するよう子どもたち、職員ともに意識を高めていきたいと思っています。

Q2 暴言や汚い言葉を言う子どもがクラスにいて怖い思いをしています。

A2 まず、クラスや学校内で他者を誹謗中傷するような言葉の根絶を図っていますが、まだまだ達成できていない現状を認識しました。教師からの指導や委員会を活用して子どもたちが自らこのような言葉を使わないような学校づくりに努めていきます。



Q3 他校と比べ宿題の量がかかなり多い。負担を感じています。今の量から減らしてほしいと思っています。

A3 宿題が多いというご指摘ですが、まずは学力向上コーディネータを中心に本校の宿題量について客観的に調査いたします。ただ、漢字練習や本読み、本日の授業を振り返るような課題は勉強する習慣を身につけさせるためにも必要と捉えています。宿題量が多すぎて、子どもたちの家庭での生活に大きく影響があるようでしたら改善を図ります。

Q4 旗振りをしている際、あいさつをしてくれる子どもがほとんどいないので寂しい気持ちになります。

A4 ご指摘ありがとうございます。あいさつは社会人としてもっとも大切に重要なマナーです。あいさつの大切さをこれからも伝えます。先日、代表委員会主催で集会を実施いたしました。「なめこあいさつ」と称し、あいさつの大切さを自分事としてとらえるよう、引き続きあいさつの大切さを語っていきます。



※「なめこあいさつ」・・・「な」－ なまえを呼んであいさつする。
「め」－ 目を見てあいさつする。
「こ」－ 心をこめてあいさつする。

Q5 夏休みの宿題ですが、少ない学校は自由研究とドリル1冊と聞いております。ポスターや作文は自由。同じ市内でこんなに違うのはなぜでしょうか。

A5 夏休みの宿題ですが、すべての学校で検討しております。本校ではポスターや作文を選択制にし、宿題の量は減らしております。全国的にみると宿題のない学校もあり、マスコミで取り上げられたりもしていますが、本校でそれをするのは時期尚早と考えます。子どもたち、保護者、教員が十分に議論しなければならない内容です。

夏休み、約40日間の自由な時間をそれぞれの子どもたちがたくさんの本を読み、経験や体験を積んで、一回りも二回りも大きな人間になってほしいと願っております。

Q6 旗当番ですが、学校に近い横断歩道は地域の方にお願ひできないでしょうか。

A6 地域の交通指導員の方は毎週月曜日と1日、15日と交通安全週間の際に旗振りをしていただきます。地域の見守り隊の方が一緒に登校する地区などもあります。本校の地区はそのような組織がありません。この現状をPTA会長、交通指導員の方に伝えますが、組織がないため難しい案件です。

Q7 学校に近い横断歩道の旗振りですが、東田島地区だけが担当しています。とても負担です。また、道路の西側を歩くようにすれば旗振りがいらなくなるのではないかと思います。

A7 確かに校庭南西の角の交通量はとても多く危険です。信号もありません。ほとんどの子どもたちがこの道を通るため、どうしても旗振りが必要となります。

また、東田島地区がこの場所の旗振りをするようになった経緯は以下の通りです。数年前から東田島地区の方には学校近くまで来て旗振りをしていただいております。全戸の方が平均して年間11回～13回の旗振りになるように話し合いを重ねて協議した結果、今のような配置になりました。

さらに、ご指摘いただいたように道の西側を子どもたちが通行するようにすれば旗振りはいらなくなりますが、宝性寺東の押しボタン信号を2段階で横断させなければなりません。そうすると通勤する方々にも大きな影響がでます。この問題は以前から交通安全指導員の方々とも検討いたしておりますが、解決が難しい問題です。

Q8 夏休みの必須の宿題に作文がありますが、作文の書き方を学習してから宿題にしてください。学習していないことを家庭で行うのは親も子もとてもハードルが高いです。

A8 確かに読書感想文、人権作文など文章を書くという学習はハードルが高いです。

国語の授業で文章の仕組みや構成について学習しておりますが、いざ、長い文章を書くとなると負担感

が増すのはわかります。ただし、表現力の育成という観点からみれば、きれいな文章を書くということを目指すのではなく、子どもたちの瑞々しい感性を大切にして、思ったこと、感じたことを素直に文字にすればよいと思います。作文等の提出に関しては国語部を中心に検討いたします。

Q9 運動会で全員リレーが見たかったです。

A9 エージェンシー（課題を自分事として捉え、世の中を変えるという当事者意識）の育成という観点から、運動会の種目（内容）については今後、子どもたちと教員が一緒になって、考える機会を持ちたいと考えております。全員リレーも面白い種目ですが、徒競走や表現、学年遊競技なども欠かせない競技です。種目決定においては学習内容を含めた全体のバランスを考えなければなりません。開会式、閉会式のあり方も考えさせたいと思います。

学校評価に関しては今後も実施し、学校の改善に努めていきます。子どもたちの健やかな成長が第一の目的です。

そのために、忌憚ないご意見をお願いいたします。そこで改善できるところは改善し、維持しなければならぬものはやはり十分に協議を重ね継続する教育活動もあります。このことを踏まえ、どうぞ、本校の教育活動に対してご理解、ご協力をお願いいたします。

最後にこんな心温まるお言葉をいただきました。私たち教職員にとって大変励みになります。

・・・今のご時世、いろいろな制約があり、先生方は仕事がしづらいこともあるかと思います。どうか一生懸命な先生方が病み、潰れてしまうことのないよう願います。私は宝泉南小学校出身ですが、そのときの先生方がとても好きで、自慢の小学校でした。昔と変わらず、先生方と保護者はもちろん、地域の方とも協力して子どもたちを見守っていかれたらと思います。我が子が楽しく学校生活を過ごせているのも先生方のおかげです。先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。大変なこともあるかと思いますが、どうか子どもたちのために、よりよい宝南小づくりをお願いいたします。・・・

宝泉南小 0276-31-0518

【文責 校長 高橋郁夫】